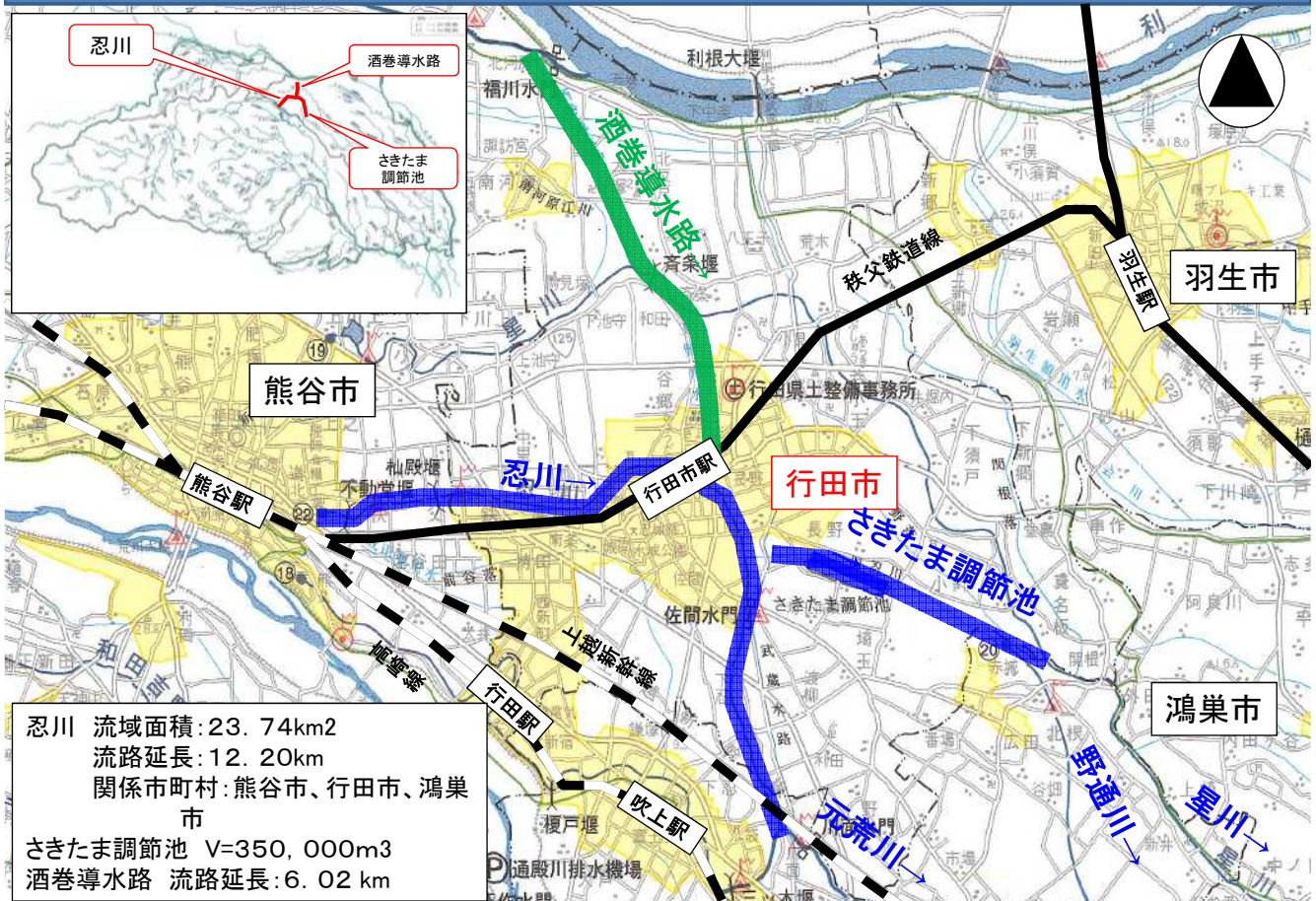


忍川・さきたま調節池・酒巻導水路の概要



川のまるごと再生プロジェクト

様式-2

～古代から未来へ 夢をつなぐまち ぎょうだ～

忍川・さきたま調節池(旧忍川)・酒巻導水路

行田市



川とまちの現状把握

様式-3

行田市には、北の利根川、南の荒川をはじめとして、多くの川が流れています。豊かな水を活用し、稲作をはじめ農業も盛んで、かつては「水郷」と呼ばれた水と緑あふれるまちです。中でも市の中心部を包むように流れる忍川は、桜が植樹され、夏にはとうろう流しが行われるなど、市民の憩いの場の一つとなっています。しかし、現在では特に秋から冬にかけての水量の減少時期には生活雑排水流入の影響による汚泥堆積など、環境悪化がみられます。また、忍川・さきたま調節池(旧忍川)の周辺には、埼玉古墳群をはじめ、全国に誇れる史跡を含む多くの観光資源が点在していますが、各資源間の距離が離れており、公共交通機関も限られることから、史跡などの間をどのようにつなぐのかが課題となっています。

市町村域と川の関係(現状の案内図)



川の現状

- 延長 忍川 12km(うち改修済み延長9km)、さきたま調節池(旧忍川) 5km、酒巻導水路6km
- 美化活動団体 12団体(うち川の応援団の登録3団体)
- 川の特徴
 - ・酒巻導水路下流部及び忍川との合流点以南は桜並木が続いている。
 - ・毎年8月中旬には忍川の水辺再生100プランで整備された箇所を利用してとうろう流し納涼大会が開催される。
 - ・さきたま調節池(旧忍川)沿いは、さきたま古墳公園と古代蓮の里を結ぶ遊歩道が水辺再生100プランで整備されている。

まちづくり等の課題

- 多くの史跡・観光資源に恵まれているが、それをつなぐ交通手段がない。
- 忍城址や埼玉古墳群などの史跡・観光資源をつなげる手段が無いために観光客の滞在時間が短く、まちなかへ足を伸ばす人が限られており、まちの活性化につながっていない。
- 水量が少ない時期に河川の水質が悪化する。

古代から未来へ 夢をつなぐまち ぎょうだ

様式-4

行田市には、古代から現代までの多くの史跡、観光資源が存在します。主なものとしては、古代ロマンあふれる古墳が数多く存在する「さきたま古墳公園」や古代蓮をテーマにした公園「古代蓮の里」、中世から近世にかけての「忍城」や「石田堤」、近世からの繁栄を伝える「足袋蔵」やB級グルメの「フライ・ゼリーフライ」などです。これらのほとんどは忍川及びさきたま調節池(旧忍川)のほとり存在することから、ポタリング(自転車による散走)や徒歩により美しい川の流れに沿って巡ることが出来れば、まち全体をテーマパークのように活用できます。さらに、今年11月には忍城を舞台にした映画「のぼうの城」が公開され、観光客の増加が見込まれます。この絶好のタイミングを捉え、川を活用した新たな行田の楽しみ方を創出し、まちの賑わいにつなげていきます。

まちづくりと川の関係(イメージ図)



現状と課題への対応

- ポタリングや散策を交通手段として位置付けるため、川沿いに遊歩道(サイクリングロード)を整備する。
- 川の魅力を高めるため花壇や休憩スペースなどを整備する。
- 美しい川を再生するため、下水道の合流改善や整備率の向上などに取組む。

目標・テーマ

- 交通手段の確保
 - ・歩道の整備と同時に観光レンタサイクルを充実させ、郊外の観光拠点等の駐車場を活用してパークアンドライドを実施し、ハード面での投資を最小限にしつつ、交通手段を確保する。
- 中心市街地の活性化
 - ・自転車や循環バス、徒歩による観光を推進することで、駐車場の少ない、まちなかの小さな商店などへの誘客を図る。
 - ・中心市街地に存在する忍城や近代遺産として全国的にも珍しい「足袋蔵」めぐりと、忍川・さきたま調節池(旧忍川)流域にある歴史的遺産を有機的に結び付ける。
- 水質改善
 - ・下水道の普及率を平成27年度末までに2%向上させると共に、忍川に放流する区域の合流改善工事を平成25年度末までに完了させ、水質改善を図る。下水道処理区域以外については、県の補助を活用しながら合併浄化槽の普及を促進する。

県に実施して欲しい取組

様式-5

行田市には、古代から現代まで、数多くの史跡や観光拠点が存在します。これらのほとんどが忍川・さきたま調節池に面して存在することから、これらの川に遊歩道(サイクリングロード)や休憩スペースを整備し、観光レンタサイクルの充実やポタリングを推進することで、それぞれの史跡・観光拠点間の移動手段を確保します。また、郊外の公園等の観光レンタサイクル拠点を充実させることで、パークアンドライドを推進します。これにより、観光客の誘致を図るほか、駐車場の少ないまちなかへ足を運んでいただけるようになります。

位置図



実施して欲しい取組の概要

- 忍川・さきたま調節池(旧忍川)沿いに遊歩道(サイクリングロードを含む)を整備
- 親水護岸や擬木フェンスの整備
- さきたま古墳公園を経由し、さきたま緑道へのアクセス確保
- さきたま調節池(旧忍川)の浚渫
- 四阿などの休憩施設やポケットパークの整備

工程表

	H25	H26	H27
遊歩道の整備	●	●	●
親水施設等の整備		●	●
旧忍川の浚渫	●	●	
四阿などの整備		●	●

市町村が取組む事業等の概要

様式-6

行田市では、親しみ易い水辺環境整備のため、埼玉県の水辺再生100プランの指定を受け、忍川、さきたま調節池及び酒巻導水路の一部を改修して来ました。これからは、「じてんしゃ王国」埼玉県を代表する観光地として、ポタリングの活用などにより、エコで健康的なまちあるきを提唱します。これにより、魅力のアップした水辺を効果的に活用でき、さらなるまちの賑わい創出につなげていきます。

位置図



事業等の概要

ハード

- 観光レンタサイクル充実
- 散策の休憩施設として、天神公園のトイレ改修を実施する。
- 下水道の合流改善工事を実施し、忍川の水質改善を図る。
- 接続道路の整備(べんがら舗装等)

ソフト

- 散策・ポタリングマップ(パークアンドライド推奨版)を作成・配布する。
- 足袋蔵などの史跡・観光資源の改修・保存に努める。
- 観光ボランティア会などの協力により、観光客に忍城と水辺をテーマにした解説を行う。

工程表

	H25	H26	H27
ハード整備	●	●	●
ソフト整備	●	●	●



維持管理の実施

様式-7

行田市では、観光客に対し全市民総ぐるみ、いわゆる「オール行田」でおもてなしすることを掲げています。行田市に足を運んでくれた観光客をおもてなしする意味でも、散策路や史跡等の清掃・維持管理について市はもとより市民、NPO法人などが主体となって取り組みます。

維持管理の概要

- 維持管理の対象
遊歩道、樹木、ポケットパーク、一部の史跡・文化財
- 維持管理の実施主体
市、自治会、ロータリークラブ、NPO法人
- 維持管理の内容と役割分担
遊歩道等の清掃...市、自治会、ロータリークラブ等
史跡・文化財の維持管理...市、NPO法人
清掃用具の支給、保険の加入...市
- 役割分担の検討方法
自治会連合会、NPO法人、ロータリークラブなどと維持管理協議会を立ち上げ、役割分担の明確化を行う。

既存の活動

- ・下長野農地環境協議会
活動場所: さきたま調節池 内容: 除草、清掃活動
- ・7自治会(栄町、東栄、宮本、下町、向友会、緑町、春日)
活動場所: 忍川 内容: 清掃活動
- ・NPO法人足袋蔵ネットワーク
活動場所: 中心市街地 内容: 足袋蔵等の維持管理

持続的・自立的な維持管理に向けた取組

- 維持管理に対する意欲を持続するため、駅からハイキングや史跡巡りポタ・ツアーなどのイベント 時に協議会の活動を紹介します。
- 感謝状の贈呈や市報・ホームページでの活動紹介を行う。
- 春、桜の開花時期の前に、市内一斉環境美化活動を実施し、全市民に活動の重要性をうたえ、参加を呼びかける。

【維持管理への支援制度】

- ・地域活性化応援隊制度の活用
- ・概要: 協議会に対し専任の職員を派遣し、行政等との連絡調整に当たる。
- ・地域活性化補助金
- ・事業内容により、要綱に基づき地域活性化補助金を交付する。

川とまちの利活用に向けた取組

様式-8

川及び散策路を活用し、まちの活力をアップさせる取組をロータリークラブやNPO法人、住民などと一緒に検討するための協議会を立ち上げます。また、観光ボランティアなどの協力も得ながら、散策やポタリングイベントを新たに複数開催し、一年を通じて散策・ポタリングの人が行き交うまちを目指します。

利活用の計画

- 花見やとろう流しなど、整備した川辺やポケットパークを活用して、既存のイベントの更なる集客につとめます。
- 観光協会、NPO法人が中心となり、川と遊歩道、自転車を活用した新たなイベントを開催します。
- 散策・ポタリングマップを作成し、郊外の史跡等を訪れた観光客を、まちなかへ誘導し活性化に繋がります。
- ポタリングを活用した健康づくりなど、新たな視点での取組を実施します。



利活用の実施

- 地域住民やNPOなどが中心となり、水辺を活用した史跡等の散策・ポタリングの推進を目標に活動を実施します。
- 各イベントの実施主体が散策路やレンタサイクルによるパークアンドライドの活用を推進します。
- 観光協会、NPOなどが中心となって街なかになんか点する忍城や足袋蔵などの魅力を発信するイベントを開催します。

既存のイベント

- さきたま火祭り
(主催者: さきたま火祭り実行委員会、内容: 古代神話をテーマにした「火」のまつり、会場: 埼玉古墳公園)
- 行田蓮まつり
(主催者: 行田蓮まつり実行委員会、内容: 蓮にちなんだイベント、食品の販売など、会場: 古代蓮の里)
- とろう流し納涼大会
(主催者: 行田市観光協会、内容: とろうを流し、行く夏や故人に思いを馳せる、会場: 忍川)



- 行田市は、埼玉古墳群や忍城、足袋蔵をはじめとする史跡・歴史遺産の宝庫です。これは、県内はもとより、全国に誇れる素晴らしいものばかりです。
- 特筆すべきは、一つの時代だけの遺産ではなく、古代から現代に至る長い期間にわたるものであることです。
- また、それぞれの史跡等を会場に市民による多彩なイベントも開催されています。
- 水辺の遊歩道(サイクリングロード)を活用することにより、行田らしいポタリング・散策を実現することができ、史跡等の間が離れているという弱みをセールスポイントに変えることができます。
- 観光資源の整備が整い、魅力的なイベントが目白押しとなった今こそ、地域住民やNPO法人など、そして埼玉県と行田市がそれぞれの役割を担うことで、行田市の目指すまちづくりの目標
～古代から未来へ 夢をつなぐまち ぎょうだ～ を実現したいと思います。

